

一西だより



豊川市立一宮西部小学校通信
令和6年12月19日 第28号
発行;校長 村上謙一

【うれしいお知らせをいただきました】

地域の方よりこんなお電話をいただきました。「毎朝散歩していると、一西小の子があいさつをしてくれて、いつも元気をもらっています。どこかで伝えてあげてください。」

一西小のみんな、ありがとう！校長先生はたいへんうれしく、誇らしく感じています。

【12月10日 人権集会】

本校元校長の西郷知之先生のお話を聞きました。今年で4回目の取組です。今年のテーマは「バトンの引継ぎ」と私は受け止めました。西郷先生が考える「人権」を、一西小の一人ひとりが確かに受け止めました。この広がりや止めないことが一西小の子どもたちの役割なのかもしれませんね。学びに終わりはありません。



西郷先生へのお礼でもお話ししましたが、マラソン大会開催の是非を問い、誰もが参加できる形に創り上げた皆さん、特に高学年のみなさんが、今回の学びをどのように受け止めて、どのように広げるのかを楽しみにしています。

【12月11日 6年生租税教室】

市役所からお二人の税のスペシャリストにお越しいただき、6年生が税の仕組みとその大切さについての学びを深めました。



【12月12日 4年生環境学習】

継続的に本校でご指導をいただいている

アイシンシロキ株式会社様、アスクネット様にお越しいただきました。子どもたちは発展的な学びからSDGsの取組についての理解を深めています。



【いよいよ冬休み】

2024年も最後の月になりました。12月は「師走(しわす)」とも言われています。1年の終わりが近づき、先生が走り回る、普段落ち着いているお坊さんがたくさんの法事で家々を走り回るなどの、忙しい月であるとたとえられています。

みなさんにとってはどんな1年だったでしょうか。4月に新しい学年、新しいクラスの友達、先生と出会いました。運動会、もちの木発表会、様々な校外学習、5年生は野外教育活動、6年生は修学旅行、そしてマラソン大会がありました。

何度も繰り返しますが、今年のマラソン大会は大変素晴らしいものでした。なぜなら、高学年の皆さん全員が開催するかしないかを真剣に考え、自分とは異なる人の考えに耳を傾け、みんなが合意できる形を創り上げて、それをやりとげたからです。

今年はあと10日ほどで終わろうとしています。冬休みに入る前に今年の振り返りをして、途中で終わっていることや、年の初めに目標を立てたことがまだできていない人は、残り少ない日々を大切に使い、しっかりやりとげてほしいと思います。自分たちが使ってきた学校をいつもの掃除より丁寧に行い、普段は見過ごしてしまうところまで心を込めて美しくしましょう。きれいになった教室で新年を迎えるのは、気持ちの良いものです。もちろん家族の一員として、自分にできることを進んで行うようにしましょう。



休みの前に毎回お願いしています。みなさんの「命」は自分で守らなければなりません。危険を感じるができる「かしこい」子供で過ごしましょう。

- ① 暗くなる前に家に帰ろう。家が近い子も、一緒にいる友達は暗くなる前に帰れるかを考えて。
- ② 交通安全に気を付けよう。子供の交通事故は7歳が最も多いのです。
- ③ なやみはおとなにそうだしよう。こまったときは「たすけて」というのです。そうだんできるところがいくつもあります。「ふゆやすみのくらし」にでんわばんごうをかきましたので、こまったら、そこにでんわしましょう。